



ポルタ

GW100
GWF100

取付説明書

■施工する方へのお願い

このたびは、EKU製ポルタGW100、GWF100をご採用いただき、誠にありがとうございます。
取付前に本書をよくお読みいただき、正しく施工されるようお願いいたします。

⚠ 警告

誤った取り付けは、施工時だけでなく使用時に思わぬけがをする恐れがあります。
本書の説明、注意事項をお守りください。

- 本書は、2モデルの製品共通の取付説明書です。
あらかじめ、どの製品モデルをキャビネットに取り付けるかを、図面と照らし合わせてご確認ください。
- 図や説明中に、**GW**、**GWF** などのマークが記されています。これは、その図や説明がどのモデルに適用されるかを示したものです。
不要なモデルの図や説明に×印を付けるなどして、該当する製品モデルの項を読み進めてください。
- 部材を切断した場合、切断面のバリや返りはきれいに取り除いてください。
- 施工中に発生した木材のかすがレールの中に残らないようにきれいに取り除いてください。
- タッピンねじは、最も近い呼びのねじをお使いください。
- 板の木口にタッピンねじを使用するときは、板が割れないよう下穴を開けるなどの処置を行ってください。

本書は、一品製作のキャビネットに本製品を取り付けることを想定したうえで、もっとも安全かつ効率的に取り付けできると思われる方法を記載しました。

したがって、必ずしも取り付けの順序や方法を規制するものではありません。

家具メーカー様におかれましては、専門家としての確たる工程をお持ちと考えますので、この説明書に記載された方法にとらわれず、施工される方の専門技術とご経験に基づいて製作してください。

その場合でも、必ず事前にこの取付説明書に一度目を通してくださるようお願いします。

この取付説明書で使っている寸法は、加工や組立による誤差や材料そのものの変形等を考慮しておりません。作業においては、このことをご考慮のうえ、切断等の加工を行ってください。

■取り付けできるドア

1枚当たりの質量	最大 100 kg (ハンドルを含みます。)
ガラスの厚み	8 ~ 12 mm (強化ガラス)
寸法	最大幅 1600 mm、最大高さ 2700 mm (1枚当たり 100 kgを超えないようにしてください。)

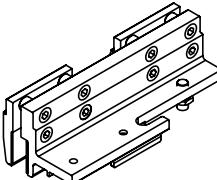
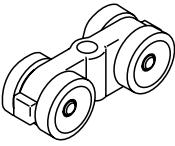
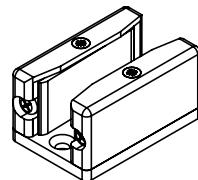
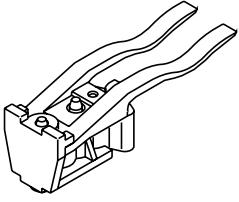
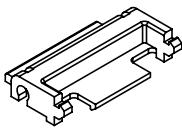
■この説明書で使う工具と準備していただくもの

- 十字ねじ回し
- マイナスねじ回し
- ヘクサロビュラ穴用ねじ回し 呼び T25
- アルミニウム型材を切断できる機械または工具
- きり 径 6
- 十字穴付さらタッピンねじ 4×20
- 十字穴付さらタッピンねじ 呼び 5
(レール取付ねじとしてお使いください。
長さは取付下地の材質強度によって決め
てください。)
- 六角棒スパナ 呼び 4
- 片口または両口スパナ 呼び 10

- エンドミル 径 10 以下
- セッティングブロック 幅 11 mm×高さ
12 mm×長さ 50 mm **GWF**
- コーキング材 **GWF**
(ガラス厚みが 12 mmのとき使用)
- 水準器
- くさび
- エポキシ系接着剤
- 粘着紙テープ
- きれいな布

■部品

57-3091-071という品番が記載された袋に入っています。

クランプ 2個	ローラ 2個	フロアガイド 1個	
			
キャッチなしストッパー 1個	キャッチ付ストッパー 1個	戸当り 1個	
			
カバークリップ ●個	<p>六角穴付特殊ボルト M8 2個 六角ナット M8 4個 十字穴付さらタッピンねじ 4×20 3本</p>		
			

本書に記載された製品の品名・品番・仕様・外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

この取付説明書の内容に関するご質問は、アーキテクト・サポート室（建築設計事務所様向け技術相談）TEL 03-3864-1122までご連絡ください。

■ ■ 建築金物・家具金物・機構部品
SUGATSUNE **スガツネ工業株式会社**

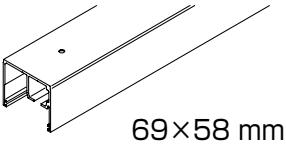
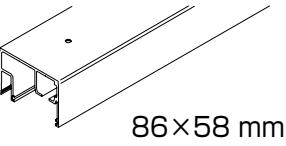
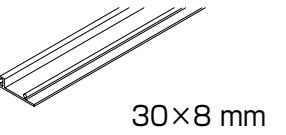
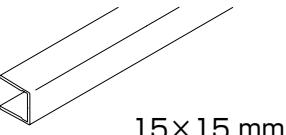
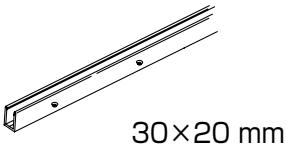
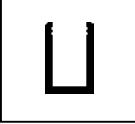
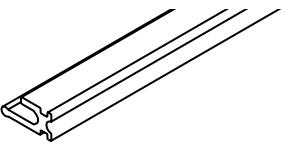
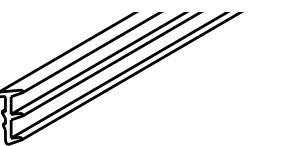
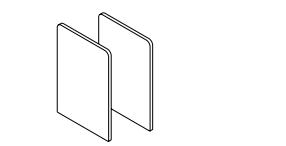
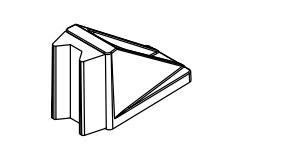
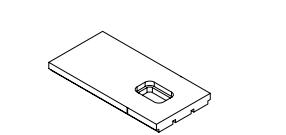
■ ■ ISO 9001 (JSAQ384)・ISO14001 (JSAE597) 審査登録

アーキテリア事業部(建築金物・家具金物) 東京都千代田区岩本町2-5-10
テクノフィールド事業部(産業機器用 機構部品) 東京都千代田区岩本町2-17-9
大阪支店 大阪府大阪市中央区内淡路町2-2-6
仙台営業所 宮城県仙台市青葉区本町1-11-1・8F
名古屋営業所 愛知県名古屋市北区大曽根3-15-3
福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅南1-8-31・6F

<http://www.sugatsune.co.jp/>

〒101-8633 TEL 03 (3864) 1122 (代) FAX 03 (3863) 6875
〒101-8633 TEL 03 (3851) 1122 (代) FAX 03 (3861) 1621
〒540-0038 TEL 06 (6910) 1122 (代) FAX 06 (6947) 1199
〒980-0014 TEL 022 (716) 1122 (代) FAX 022 (716) 1124
〒462-0825 TEL 052 (982) 1122 (代) FAX 052 (911) 2823
〒812-0016 TEL 092 (461) 1122 (代) FAX 092 (461) 1123

■必要な部品とオプション部品

上レール GW		2500 mm : 57.3083.250 3500 mm : 57.3083.350
上レール GWF		2500 mm : 57.3084.250 3500 mm : 57.3084.350
上レールカバー		2500 mm : 57.3085.250 3500 mm : 57.3085.350
目隠しプロファイル GWF		2500 mm : 42.3005.250 3500 mm : 42.3005.350
固定ガラス受け GWF		 2500 mm : 57.3056.250 3500 mm : 57.3056.350
シール		57.3078.002 メートル単位での販売です。
ガスケット GWF		57.3072.001 メートル単位での販売です。
受けカバー GWF		57.3076.071 付属のねじは使用しません。
床置用戸当り (オプション)		20773
穴開け用の治具		57-3094-001

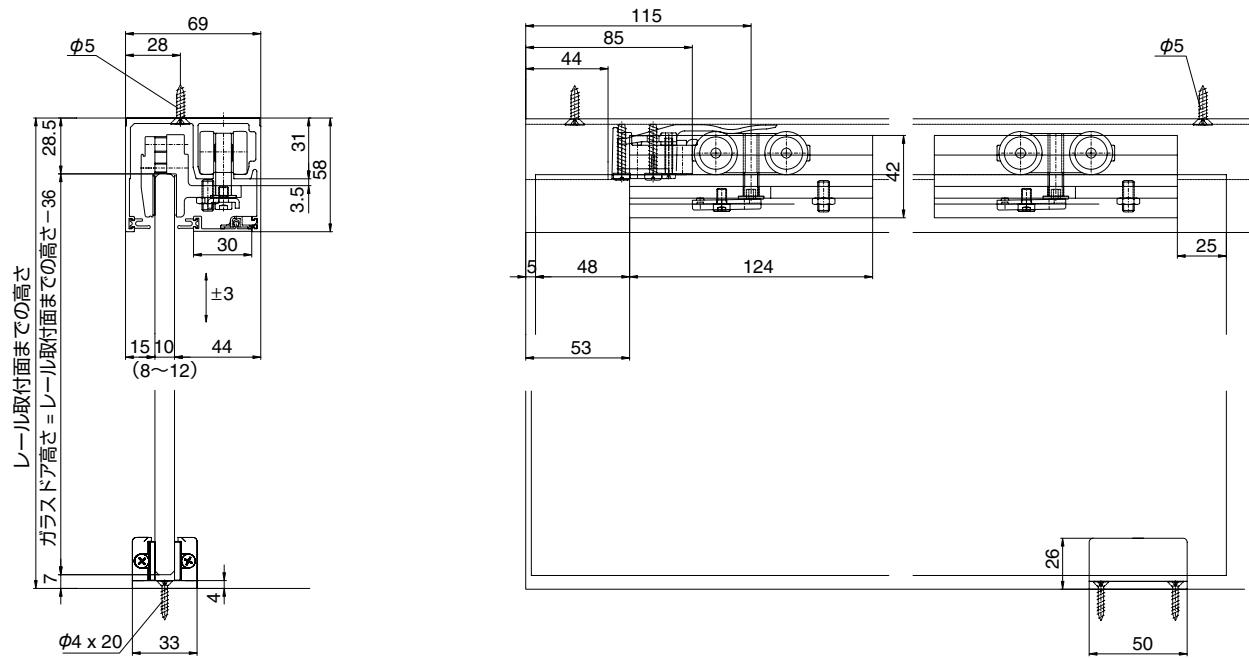
寸法図

このページの図は設計上の参考寸法です。

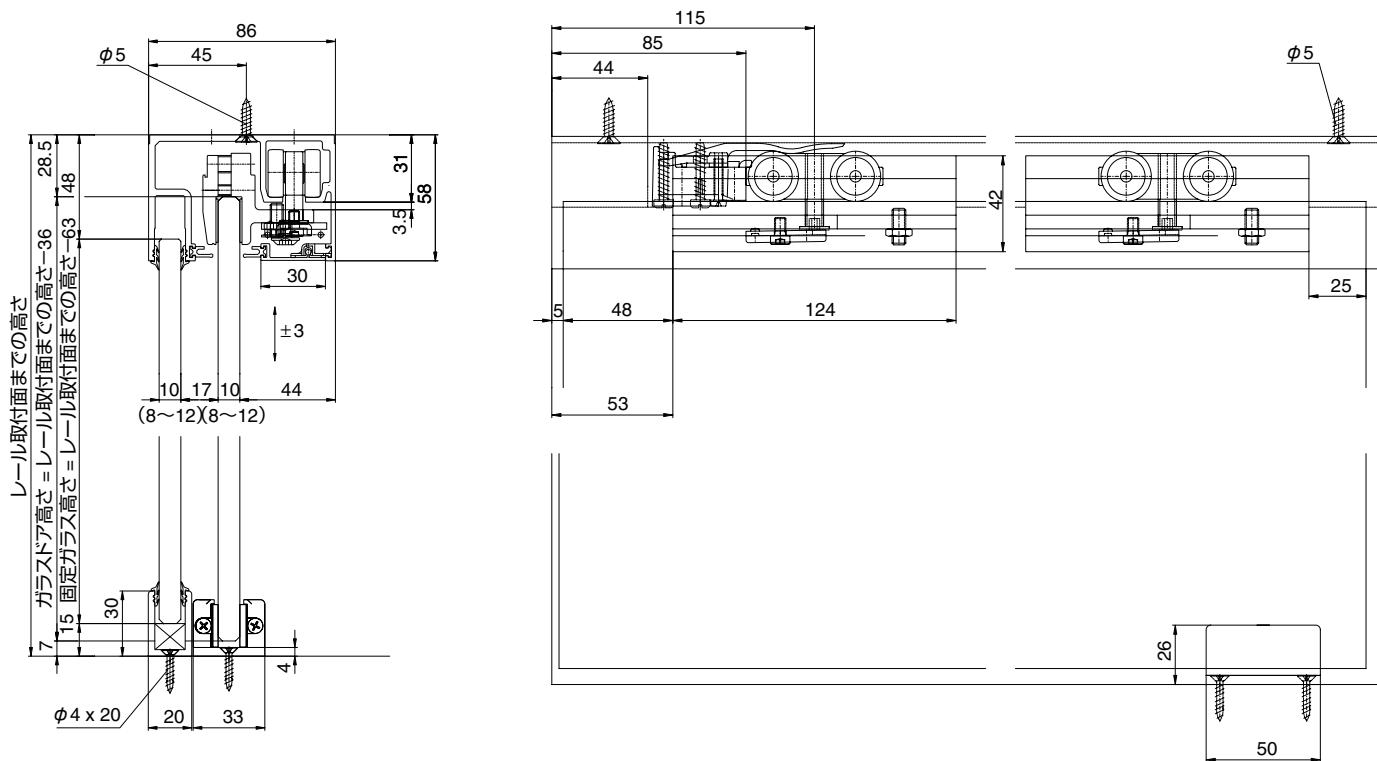
(单位: mm)

〈断面図〉

GW



GWF



■取付手順

1 上レールを切断する。

1. 上レールを切断します。

① 建築図に従って、上レールを切断してください。

切断位置によって、端から約 50 mm のところに取付穴がなくなった場合、端から 50 mm のところに径 6 の穴を開けてください。

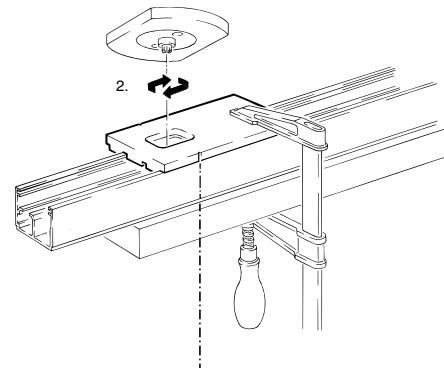
※ 切りくずが上レールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。

2. 上レールに切り欠きを設けます。

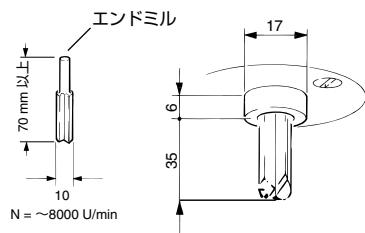
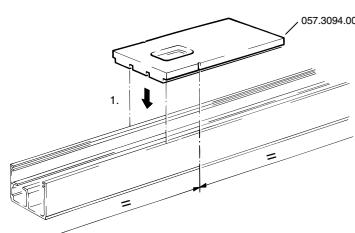
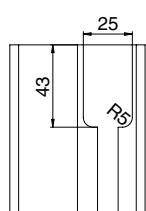
※ この切り欠きは、ドア取り付け後にローラ交換などのメンテナンスを行うためのものです。

① レールの端部に、治具 57-3094-001 とエンドミル 径 10 で、下図のような<断面図>の寸法の切り欠きを設けてください。

※ 下図は、治具を置く位置が実際と異なります。下図の寸法に合わせてください。



<断面図>



2 上レールカバー（オプション）を切断する。

① 建築図に従って、上レールカバーを切断してください。

※ 切りくずが上レールの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。

3 固定ガラス受けを切断する。 GWF

① 建築図に従って、固定ガラス押さえを切断してください。

※ 切りくずが固定ガラス押さえの中に残らないよう、きれいに取り除いてください。

4 ガスケットを切断する。 GWF

① ガスケットを固定ガラスと同じ長さに切断してください。

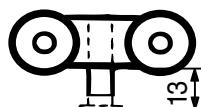
※ 固定ガラスの厚みが 10 mm 以下の場合、ガスケットは 4 本（上下部各両面）必要です。

※ 固定ガラスの厚みが 12 mm の場合、この作業は不要です。

5 ローラを組み立てる。

① 六角穴付特殊ボルト M8 をローラに組んでください。

※ ボルトを 13 mm くらいの位置までねじ込んでください。



6 上レールを仮組みする。

- ① 上レールの中にローラを2個入れ、両端の図の位置にストップを組み込んでください。
※ 戸先側にキャッチ付ストップがくるように組み入れてください。
※ キャッチなしストップは、クッションのある側をレールの内側にくるようにしてください。

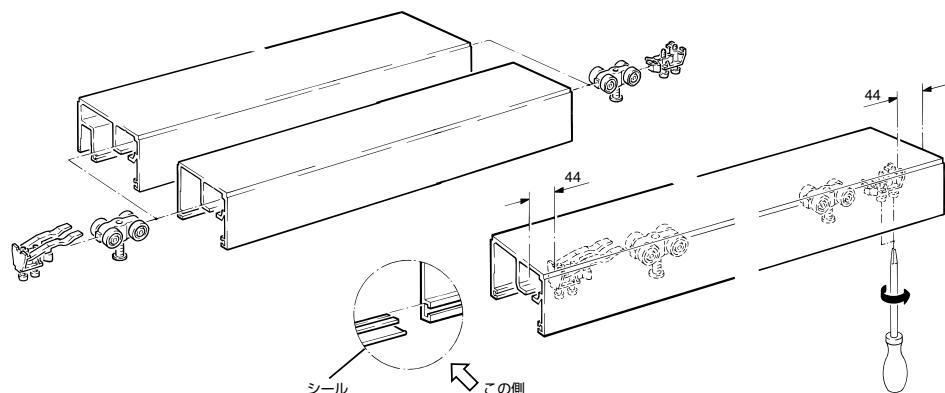
- ② 両方のストップは、固定用ねじをストップが上レールから抜け落ちない程度に締めてください。
※ ストップの位置は、後（12ページ）で調整します。

- ③ ローラが施工中に動かないよう、粘着紙テープで固定してください。

！ 警告

ローラは必ず粘着紙テープで動かないように止めてください。
施工中にローラが上レールの中を滑走して、思わぬけがをすることがあります。

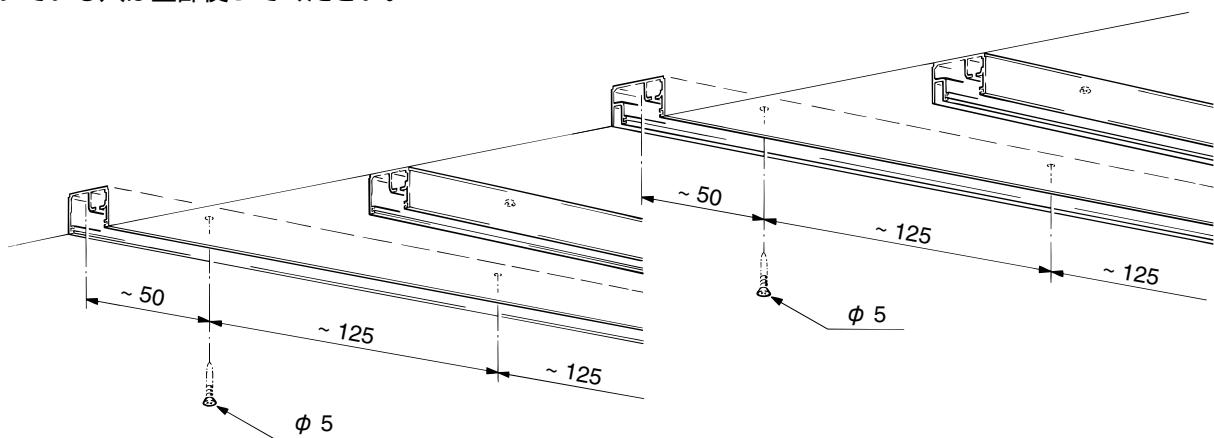
- ④ 上レールの図の位置の溝に、シールを組み込んでください（片側だけです。）。



7 上レールを取り付ける。

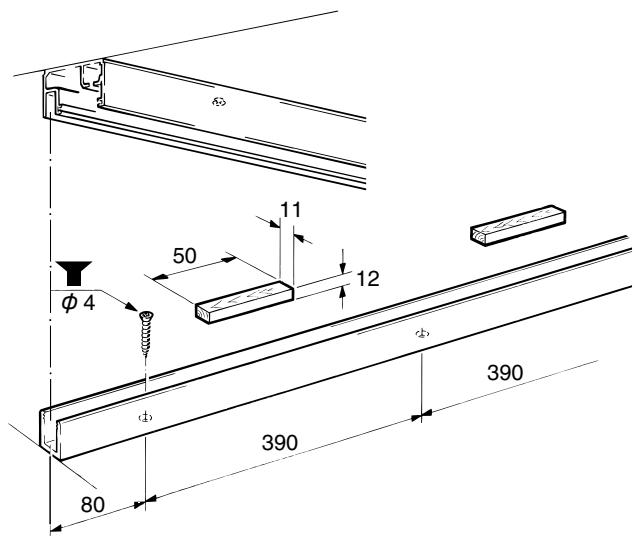
- ① 建築図や本書納まり図を元に、取付穴の位置を決めてください。
※ 上レールにはあらかじめ、ねじ穴が開いています。

- ② タッピンねじ呼び5で上レールを取り付けてください。
※ レールに開いている穴は全部使ってください。



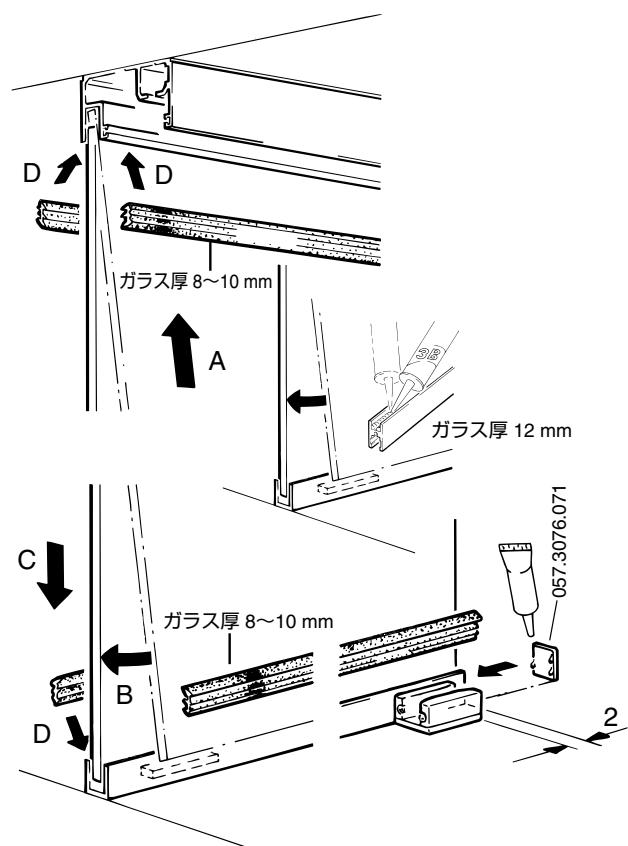
8 固定ガラス受けを取り付ける。 GWF

- ① 固定ガラスの取付位置を、上レールに合わせて決めてください。
- ② さらタッピンねじ 呼び 4 で固定ガラス受けを取り付けてください。
※ 固定ガラス受けに開いている穴は全部使ってください。
- ③ 固定ガラス受けに、セッティングブロックを固定してください。



9 固定ガラスを取り付ける。 GWF

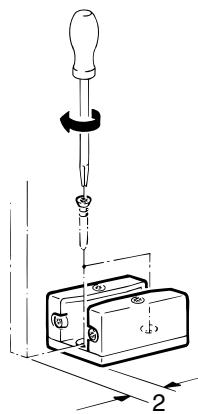
- ① 固定ガラスの上辺を上レールの深さいっぱいに差し込んで、下辺を固定ガラス受けの中に落としてください。
- ② 固定ガラスの上辺を上レールに立てかけてください。
※ ガラスの厚みが 12 mm のときは、④へ進んでください。
- ③ ガスケットを上レールとガラスのすき間にはめてください。
- ④ ガラスの厚みが 12 mm のときは、固定ガラス受けと、ガラス上部と下部のすき間にコーティングを施してください。
- ⑤ 固定ガラス受けの両側の端に、受けカバーをエポキシ系接着剤で止めてください。



10 フロアガイドを取り付ける。

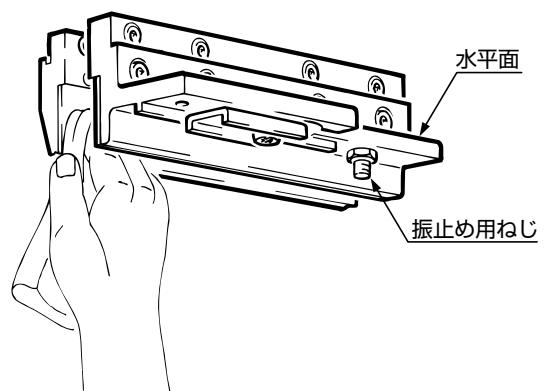
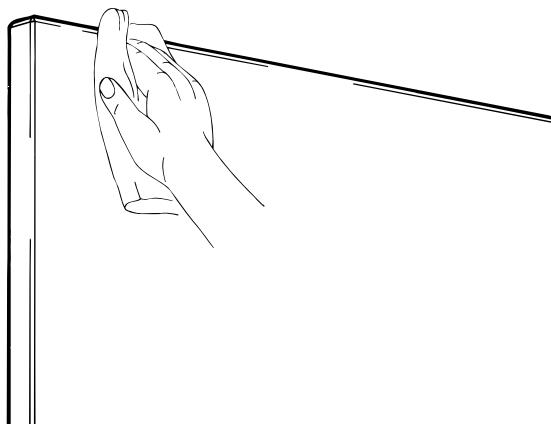
- ① ドアガラスが移動する中心線上に、現場合合わせで、フロアガイドをタッピンねじで止めてください。
- ※ モデルGWのときは、ドアが閉まりきったときの戸尻から 2 mm下がった場所に取り付けてください。
- ※ モデルGWFのときは、固定ガラスのドア側の端から 2 mm下がった場所に取り付けてください。

7ページ **9** の図の右下部をご覧ください。



11 ドアガラスにクランプを取り付ける。

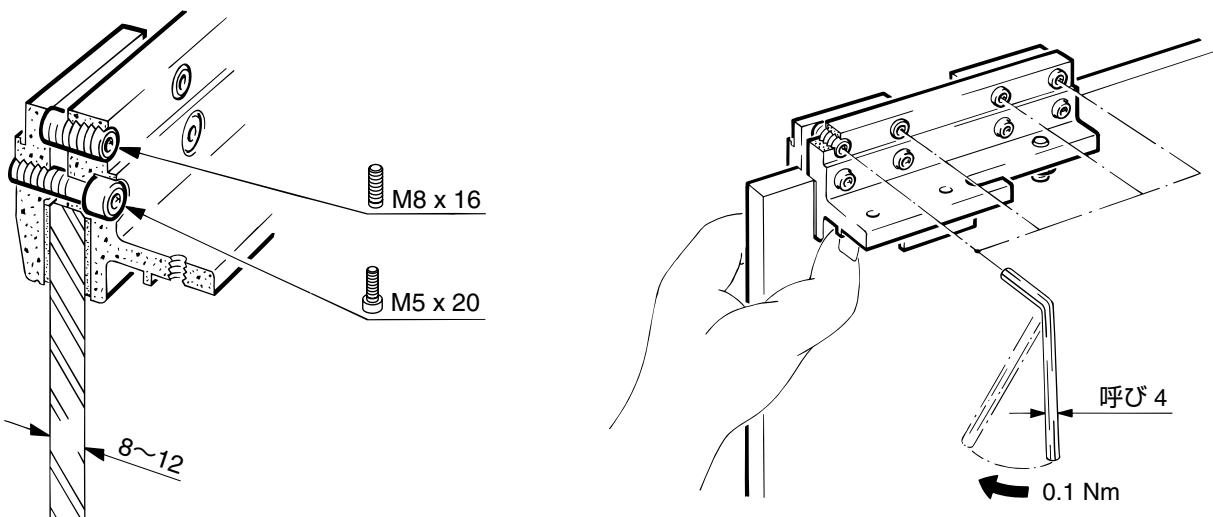
- ① 振止め用ねじの頭を、クランプの水平面と同じ位置までマイナスねじ回しで引っ込んでください。
- ② クランプの内側の各面とガラス上部のクランプ取付部分を、きれいな乾いた布でふいて汚れをとってください。



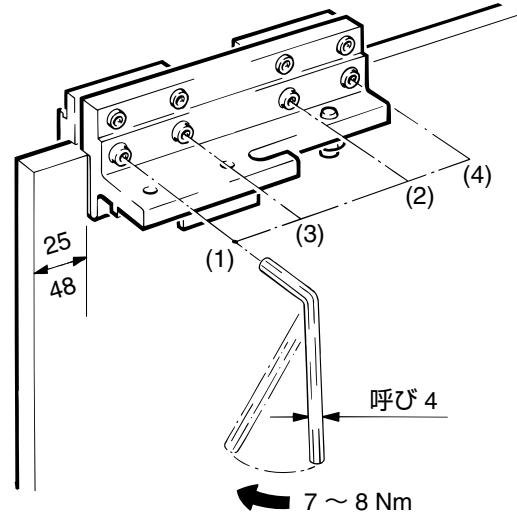
- ③ クランプの内側の各面とガラス扉にすき間ができないよう、手で押させて密着させてください。

※ ガラス端面とクランプ端部の距離は、戸先側は 48 mm、戸尻側は 25 mmです。
4ページの図をご覧ください。

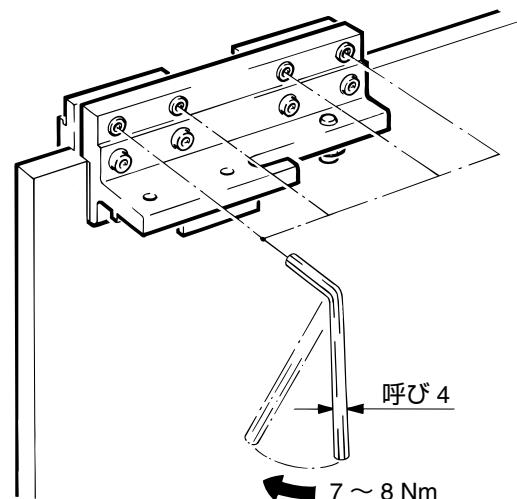
- ④ その状態で、図の六角穴付止めねじ M8×16 を反対側の面に当たるまで、六角棒スパナ 呼び 4 で軽く均一に締めてください。
- ※ この時点では、まだ強く締めないでください。



⑤ 六角穴付ボルト M5×20 を、右図の (1) ~ (4) の順に締め付けトルク 7 ~ 8 Nmで締め付けてください。
 ※ このとき、一度でこのトルクにせず、数回に分けてこのトルクになるようにしてください。
 ※ 締め付け順序は、(4) ~ (1) と逆になってもかまいません。

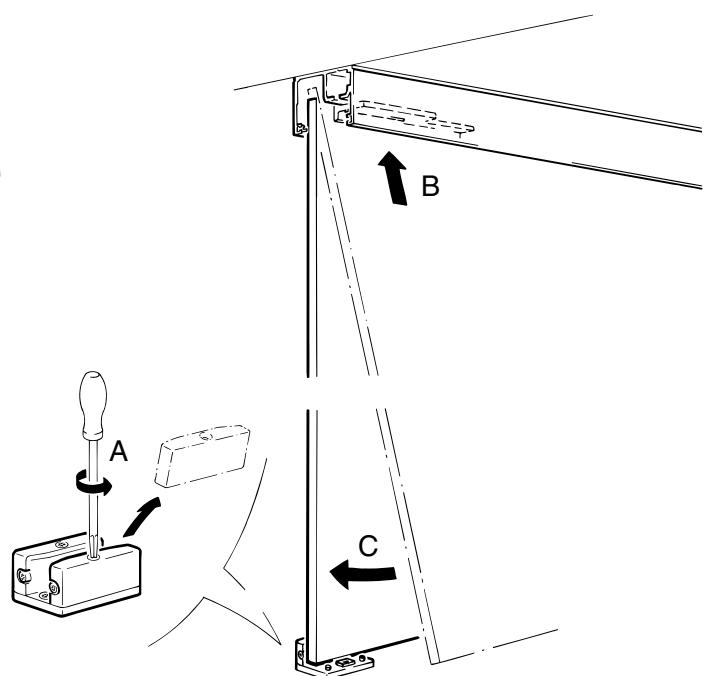


⑥ 仮締めしていた六角穴付止めねじを、上と同じように締め付けてください。



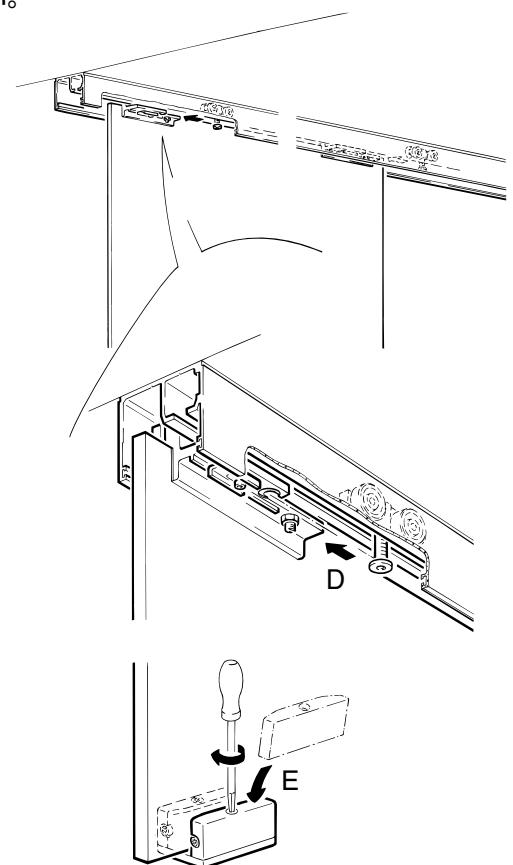
12 ドアガラスを吊り込む。

- ① ローラを固定していた粘着紙テープをはがしてください。
- ② フロアガイドのガラスをはめる側のガイド板を外してください（右図のA）。
- ③ ドアガラスの頂部を上レールに差し込んでください（右図のB）。
- ④ ローラを、クランプがくる位置に移動してください。



⑤ ローラを、クランプのU字型の溝に引っ掛けてください（右図のD）。
 ※ ボルトがクランプのU字型の溝の奥に届くまで、確実に挿入してください。

⑥ 前ページの②で外したガイド板を元に戻してください（右図のE）。



13 ドアガラスの高さ調整を行う。

① 振止めを下げてください。

※ 下げておかないと、ドアが上がらないことがあります。

② ローラの六角穴付特殊ボルト M8 を六角棒スパナ 呼び 4 で締め込んで、高さを調整してください。

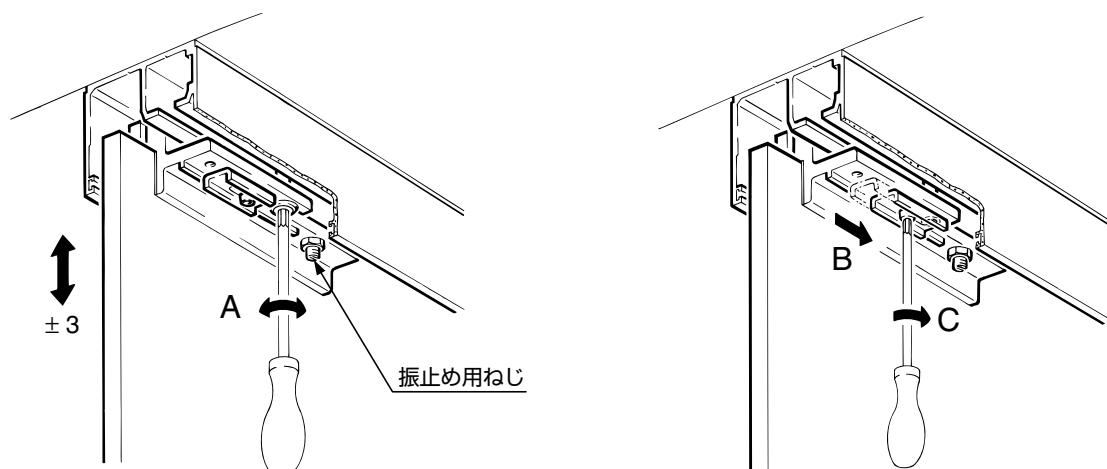
③ ドアガラスの下端が床仕上げ面から 7 mm浮くように調整してください。

ドアガラスは、上下にそれぞれ 3 mm動かすことができます。

※ クランプからボルトが外れないよう、ご注意ください。

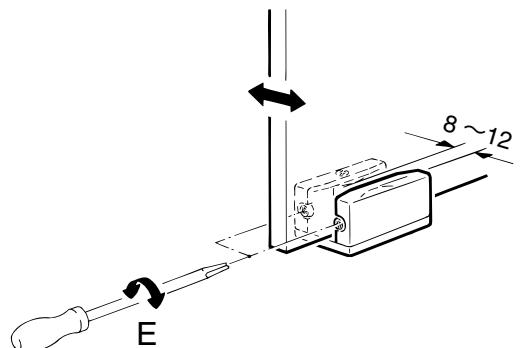
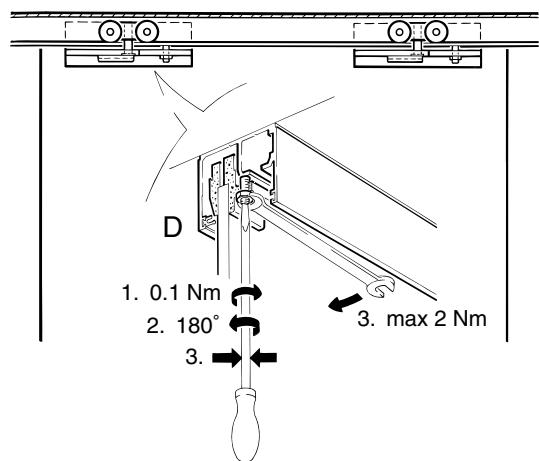
④ クランプに付いているチャンネルのねじを、ヘクサロビュラ穴用ねじ回し 呼び T25でゆるめて、
 ドアの中央側へずらしてください。

⑤ ゆるめたねじを再び締めてください。



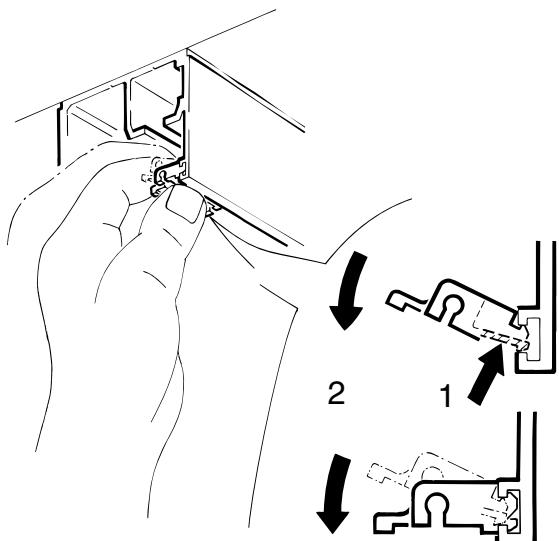
14 振止めの調整を行う。

- ① マイナスねじ回しで、振止め用ねじをレールに当たるまで締めてください。
※ 当たったときの締め付けトルクは、約 0.1 Nmにしてください。
- ② 振止め用ねじを半回転ゆるめてください。
- ③ 振止め用ねじの位置をマイナスねじ回しでそのまま保ち、ナットをスパナ呼び 10 で締めてください。
- ④ フロアガイドの横にある十字穴付六角穴付止めねじを操作して、ガラスとフロアガイドのすき間を調整してください（右図のE）。

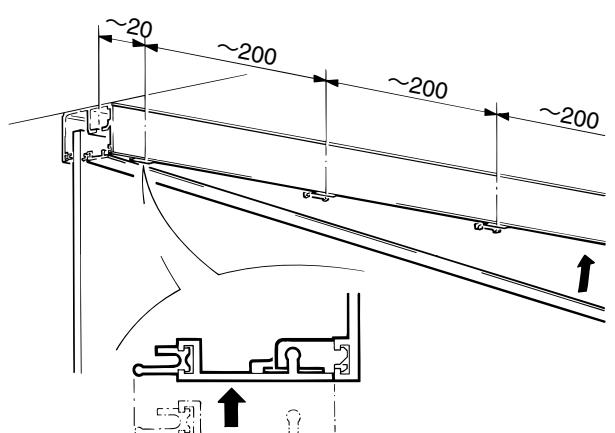


15 上レールカバーを取り付ける。

- ① 上レールのローラが走行する側のフランジの内側に、カバークリップを 200 mm間隔で組み込んでください。
- ② シールを上レールカバーと同じ長さに切断して、上レールカバーに組み込んでください。
- ③ 上レールカバーをカバークリップに取り付けてください。

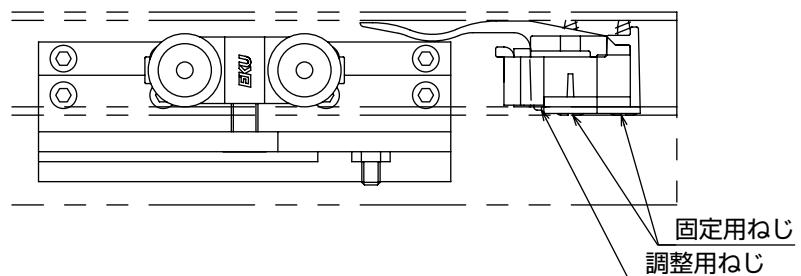


- ④ 右図のように、上レールカバーを上レールに組み込んでください。



16 キャッチ付ストッパーの位置調整を行う。

- ① ドアを開いてください。
- ② キャッチ力調整用ねじを大きくゆるめてください。
- ③ ストッパーの固定用ねじをゆるめて、ドアにストッパーが当たるまで動かしてください。
- ④ ストッパーに当てたままの状態で、ドアを開けてください。
- ⑤ ストッパーを動かないようにして、ドアを閉めてください。
- ⑥ 固定用ねじを閉めて、ストッパーを固定してください。
- ⑦ ドアを開け閉めしながら、キャッチ力を調整してください。



17 戸当りを取り付ける。

- ① 戸当りを付属の十字穴付さらタッピンねじ 4×20 で取り付けてください。
※ ドアガラスを開けた位置に現場合せで取り付けてください。
※ オプションの床置戸当りを取り付ける場合も同様です。

